



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,918	13.3	△435	—	△207	—	△511	—
2022年3月期第2四半期	15,814	56.2	△1,355	—	△844	—	△1,068	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,488百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △923百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△14.83	—
2022年3月期第2四半期	△30.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	107,074	93,115	86.9
2022年3月期	101,809	88,795	87.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 93,077百万円 2022年3月期 88,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	43.6	1,000	—	1,600	—	800	—	23.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	35,800,000株	2022年3月期	35,800,000株
2023年3月期2Q	1,285,551株	2022年3月期	1,285,281株
2023年3月期2Q	34,514,604株	2022年3月期2Q	34,513,219株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、新型コロナウイルスの感染が長期化する中、米国ではインフレ抑制に向けた積極的な金融引き締めが継続され、欧州ではロシア・ウクライナ情勢の長期化にともなう深刻な資源高や物価、金利の上昇など、景気後退リスクが高まっています。中国では不動産市場の停滞や感染拡大阻止に向けたゼロコロナ政策により景気の下押し圧力が強まっています。わが国においては資源価格上昇や円安の進行による物価上昇圧力が高まっており消費マインドが低下するなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは中期経営計画「Ever Onward 2023」に基づき、ホールガーメント横編機の拡販、ソリューションビジネスの拡大などサステナブルなもの創りを支援する製品・サービスの提案活動を顧客、業界に向けて展開しました。また9月から11月までの期間、「Sustainability @ SHIMA SEIKI ~Open Up the Future~」をテーマとした創立60周年記念イベントを本社およびオンラインにて開催しております。これには、創業以来、人や地球環境にやさしいもの創りを発信してきた当社が「サステナビリティ」というキーワードを通じて、アパレルファッション業界にとどまらず、新たな業界においても「未来を切り拓いていく」というメッセージを込めています。

当社のコア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では、主要マーケットである中国市場においては上海市のロックダウンなどゼロコロナ政策にともない企業活動や生産設備投資が停滞し、ホールガーメント横編機を中心に販売が低調となりました。一方、先進国向けニット製品の生産拠点であるバングラデシュ等においては、大手アパレルからの受注が回復傾向となり売上が伸長しました。欧州では、付加価値の高い商品開発を得意とするイタリア市場において、経済活動の再開や有名ブランドの自社製品開発の動きにともない設備投資が活発となり、ホールガーメント横編機や高いデザイン性を発揮する成型編機を中心に需要が増加しました。中東のトルコ市場においては、欧州や国内ファストファッションアパレルからの受注による設備投資が活発となりコンピュータ横編機を中心に売上が伸長しました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は128億99百万円（前年同期比23.1%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、SDS-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEX Fi z」が欧米、国内の大手アパレルブランドを中心にライセンス契約数が伸長しました。また自動裁断機「P-CAM」についても海外を中心に販売が増加し、売上高は15億99百万円（前年同期比22.0%増）となりました。手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備投資が一巡した結果、売上高は4億36百万円（前年同期比72.8%減）となりました。その他事業につきましては、売上高は29億83百万円（前年同期比23.2%増）となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は179億18百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

各国の経済活動の再開にともない設備投資需要は総じて回復基調にありますが、原材料の供給逼迫により、一部生産活動に支障が生じ納期が確定できない状況が続いております。利益面におきましては、コロナ禍を背景とした部品や原材料価格、物流費の高騰の影響はあったものの、工場操業度が改善したことや継続的なコスト削減に努めた結果、売上総利益率は回復傾向となり、営業損失は改善し4億35百万円（前年同期は営業損失13億55百万円）、経常損失2億7百万円（前年同期は経常損失8億44百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5億11百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億68百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加などで前連結会計年度末に比べ52億64百万円増加し、1,070億74百万円となりました。負債合計は買掛債務の増加などで前連結会計年度末に比べ9億44百万円増加し、139億58百万円となりました。また自己資本の額は、930億77百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.3ポイント低下し86.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権、棚卸資産の増加などで49億33百万円の資金の減少（前年同期は20億79百万円の資金の増加）となりました。投資活動においては投資有価証券の売却による収入などにより5億13百万円の資金の増加（前年同期は8億63百万円の資金の減少）となりました。また財務活動においては配当金の支払いなどにより6億65百万円の資金の減少（前年同期は47億93百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて37億49百万円減少し、205億21百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月25日に発表しました2023年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,339	20,573
受取手形及び売掛金	39,498	44,899
商品及び製品	6,575	8,497
仕掛品	1,073	2,417
原材料及び貯蔵品	7,449	7,771
その他	998	1,413
貸倒引当金	△5,399	△4,878
流動資産合計	74,536	80,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,919	6,770
土地	6,399	6,399
その他（純額）	2,932	3,002
有形固定資産合計	16,250	16,172
無形固定資産		
のれん	1,967	2,057
その他	147	177
無形固定資産合計	2,114	2,234
投資その他の資産		
投資有価証券	5,417	4,430
退職給付に係る資産	1,211	1,209
繰延税金資産	503	551
その他	3,407	4,097
貸倒引当金	△1,631	△2,315
投資その他の資産合計	8,907	7,973
固定資産合計	27,273	26,380
資産合計	101,809	107,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,207	2,239
電子記録債務	499	792
リース債務	965	900
未払法人税等	327	474
契約負債	1,090	1,285
賞与引当金	707	1,219
債務保証損失引当金	201	182
その他	2,189	2,401
流動負債合計	8,188	9,495
固定負債		
長期末払金	947	947
リース債務	1,746	1,408
繰延税金負債	543	526
退職給付に係る負債	1,298	1,291
その他	289	289
固定負債合計	4,825	4,462
負債合計	13,013	13,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,423	23,423
利益剰余金	51,541	50,856
自己株式	△3,925	△3,925
株主資本合計	85,899	85,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382	448
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	2,630	7,564
退職給付に係る調整累計額	△184	△183
その他の包括利益累計額合計	2,862	7,863
新株予約権	16	19
非支配株主持分	17	18
純資産合計	88,795	93,115
負債純資産合計	101,809	107,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	15,814	17,918
売上原価	10,378	11,087
売上総利益	5,436	6,830
販売費及び一般管理費	6,792	7,266
営業損失(△)	△1,355	△435
営業外収益		
受取利息	158	92
受取配当金	75	94
その他	344	175
営業外収益合計	578	363
営業外費用		
支払利息	21	17
為替差損	—	81
固定資産賃貸費用	19	18
その他	26	16
営業外費用合計	67	134
経常損失(△)	△844	△207
特別損失		
固定資産除売却損	10	—
投資有価証券償還損	—	13
特別損失合計	10	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△854	△220
法人税、住民税及び事業税	178	269
法人税等調整額	34	21
法人税等合計	213	290
四半期純損失(△)	△1,068	△511
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,068	△511

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,068	△511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	66
為替換算調整勘定	158	4,933
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	144	5,000
四半期包括利益	△923	4,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△924	4,488
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△854	△220
減価償却費	638	674
のれん償却額	201	242
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△187	△627
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90	508
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	△15
受取利息及び受取配当金	△233	△187
支払利息	21	17
為替差損益(△は益)	7	593
有形固定資産除売却損益(△は益)	10	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	13
売上債権の増減額(△は増加)	1,499	△2,580
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,661	△3,354
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△38	△180
仕入債務の増減額(△は減少)	△765	△28
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△20	452
その他	21	△295
小計	1,844	△4,987
利息及び配当金の受取額	233	185
利息の支払額	△23	△11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	25	△119
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,079	△4,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27	—
定期預金の払戻による収入	17	18
有形固定資産の取得による支出	△629	△478
有形固定資産の売却による収入	56	14
投資有価証券の取得による支出	△2	—
投資有価証券の売却による収入	—	1,000
投資有価証券の償還による収入	—	32
関係会社株式の取得による支出	△339	—
長期貸付けによる支出	—	△143
その他	62	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△863	513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,981	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△466	△492
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△344	△172
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,793	△665
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1,336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,576	△3,749
現金及び現金同等物の期首残高	25,582	24,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,006	20,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、「営業外収益」に計上しておりました「貸倒引当金戻入益」及び「債務保証損失引当金戻入益」は、当第2四半期における金額的重要性に鑑み、表示区分の見直しの検討を行った結果、営業取引に基づく債権に係る繰入額と同区分である「販売費及び一般管理費」から控除する方法に変更しております。

また、この表示方法を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業損失が203百万円減少しております。なお、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	10,477	1,310	1,604	13,392	2,300	15,693
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	121	121
顧客との契約から生じる 収益	10,477	1,310	1,604	13,392	2,422	15,814
外部顧客への売上高	10,477	1,310	1,604	13,392	2,422	15,814
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,477	1,310	1,604	13,392	2,422	15,814
セグメント利益	1,045	369	62	1,477	229	1,707

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,477
「その他」の区分の利益	229
全社費用(注)	△3,062
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,355

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	12,899	1,599	436	14,934	2,899	17,834
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	84	84
顧客との契約から生じる 収益	12,899	1,599	436	14,934	2,983	17,918
外部顧客への売上高	12,899	1,599	436	14,934	2,983	17,918
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,899	1,599	436	14,934	2,983	17,918
セグメント利益	1,939	354	9	2,304	523	2,827

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,304
「その他」の区分の利益	523
全社費用(注)	△3,263
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△435

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(追加情報) (表示方法の変更)に記載のとおり、従来、「営業外収益」に計上しておりました「貸倒引当金戻入益」及び「債務保証損失引当金戻入益」は、第2四半期連結会計期間より「販売費及び一般管理費」から控除する方法に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替え後の数値を記載しております。

【関連情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,552	4,520	369	6,546	825	15,814

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,197	5,211	1,725	6,689	1,094	17,918

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	16,308	51.4%	9,044	125.6%
デザインシステム関連	1,950	19.4%	784	38.6%
手袋靴下編機	559	△67.6%	316	△51.6%
合計	18,819	33.2%	10,145	94.0%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	12,899	23.1%
デザインシステム関連	1,599	22.0%
手袋靴下編機	436	△72.8%
その他	2,983	23.2%
合計	17,918	13.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。